

遠野高校との統合に伴う「校舎方式」について

福島県立湯本高等学校

令和4年度（2022年度）に本校と遠野高校との統合が予定されています。したがって、令和2年度（2020年度）の入学生が3学年次に統合となる予定です。

12月2日（火）に遠野高校において開催された第2回県立高校改革懇談会において、統合高校においては、「校舎方式」で学ぶこととすることが了承されました。統合により1つの高校となります。統合後2年間は、湯本高校に入学した生徒は統合高校の湯本校舎で、遠野高校に入学した生徒は統合高校の遠野校舎でそれぞれ卒業まで学ぶことになる予定です。

なお、統合高校の魅力化・特色化については、現在、次のようなことが検討されています。

- 1 大学進学から就職まで幅広い進路希望に対応するための2年次からのコース制の導入（国公立大学・難関私立大学など4年制大学への進学を目指す「アカデミックコース」と看護・医療系の専門学校への進学や公務員、一般企業への就職を目指す「スペシャリストコース」）
- 2 チーム・ティーチングや少人数指導、アクティブラーニングによる「分かる授業」のさらなる実践及びICT機器を活用した授業による個に応じた学習指導
- 3 外部講師を活用した出前講座や講演会の実施や地元研究機関と連携した体験学習、先端技術等の見学やインターンシップの実践によるキャリア教育の視点を持った進路指導
- 4 湯本や遠野の地域に対する理解を深めたり、遠野和紙等の伝統文化を継承したりするための学びの実践や、地域活性化など課題に対して当事者意識を持って取り組み、解決に向けて主体的に他と協働して取り組む力を育成するための地域を学びのフィールドとした探究学習の実践